

# JAPAN REGION



受動から能動へ

WAKEUP TO ACTION

Volume 13, No.3, April 1995

# ITC日本リージョン声明文

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供し、リーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

1994. 8. 24 役員会採択

## Mission Statement of Japan Region

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.

### 目 次

#### Table of Contents

Vol.13/No.3. April 1995

日本リージョン会長メッセージ	Message from Japan Region President	1	
		2	
ITCニュース	ITC News	2	
リージョンニュース	Region News	3	
ディビジョンⅣ副会長	Division IV Vice President	4	
会計監査委員会	Audit Committee	5	
選挙委員会	Election Committee	5	
ITC基金委員会	ITC Endowment Fund Committee	6	
新クラブ紹介	Introduction of a New Club	6	
ITC国際大会案内	Information of ITC Convention	7	
海外だより	Fresh Breezes from Overseas	8	
		9	
カウンスルだより No. 4 No. 5	Fresh Breezes from the Councils	10	
No. 6 No. 8		11	
議事法Q & A	Parliamentary Procedure Q & A	12	
第13回日本リージョン大会案内	Japan Region 13th Annual Conference	13	
リージョン運営研修会、カウンスル運営研修会	RMT・CMT	13	
大会プログラム	Region Conference Program	14	
プログラム・教育委員会	Program-Education Committee	15	
リージョン派遣員へのお知らせ	Notice to Delegates to Region	16	
大会準備委員会より	From Region Conference Committee	17	
登録	食事	インフォメーション	18
名札・リボン	儀典	ホスピタリティー	
写真	宿泊	物品販売	
リージョン・インターネット	Region Internet	19	
		20	
祝 クラブアニバーサリー	Club Anniversary	21	
書記からのお知らせ	From Region Secretary	22	

## 会長メッセージ



日本リージョン会長 小林 令

人間は未来を想定し、先を見極めながら将来の計画を立て行動しているのだと今までは単純に信じていましたが、この度は明日も今日と同じ日常が巡ってくるという保証は何もないという事を改めて思い知らされました。阪神地区にお住いの多くの日本リージョンの会員が、1月17日未明の大地震で衝撃的な被害に遭われ、前日までの平和な日々には夢想さえしなかった状況に置かれてから一ヶ月が経ちました。この会報がお手元に届く頃には、被災地の会員の皆様の周囲の状況が少しでも好転しておられますようにと、心からお祈りしております。

今期の国際会長テーマの中の“核心（Core）”という言葉から、最初私はITCのCoreとは訓練プログラムや教育であろうと考えていましたが、Moon会長のスピーチではCoreはMembershipであると説かれました。この災害でリージョン内の会員に大きな打撃を受けた今、確かに組織の一番大切なCoreはMembershipであって、組織をつくる会員がいるからこそ、そして会員に条件が整った平和な人間らしい生活があるからこそ、訓練も教育も生かされるのだと納得いたしました。

今回の災害は、日本リージョンにとっても経験したことのない大きな災害でした。自然災害の前には、人間は本当に弱い存在であることも実感いたしました。しかし弱い存在であるからこそ、お互いに痛みを分かち合い、大きな悲しみも小さな喜びも共有し支え合える仲間が必要なのも人間であると思います。

こんな時にITCでもないとお考えの会員もいらっしゃるかもしれません。確かにそうかもしれませんが、会員の消息を案じ続けている仲間たちが笑顔で励まし合える機会として、6月のリージョン大会を持つことができれば幸いであり、それを願っております。

Though without any concrete reason, it had been my belief that we human beings can assume that we know what lies ahead, can make plans suitable to that assumption and try to carry them out. However, the Great Hanshin Awaji Earthquake made me realize that there is no such guarantee that tomorrow will be another day like today. A month has passed since the quake hit the area, where so many members of the Japan Region live, at the dawn of January 17th. Having had a peaceful life till the day before, who would ever have dreamed of such a disaster? I sincerely pray to God that ITC victims will have gained back some peaceful moments in their lives by the time they receive this newsletter.

The theme of this year decided by the International President, "Core" may imply the ITC training program and education and that was my understanding of the theme. But President Ruby Moon told us in her speech that the "Core" meant the membership. After the big shock of the devastating damage, especially to the members living in that area, I have clearly been able to understand that the membership is the most important "Core". Without them who organizes ITC? Without their being able to live decent lives, none of our training and education is meaningful or fruitful.

We have never experienced such a calamity in our Japan Region history of ITC, and every one of us has fully realized how helpless we are in the face of natural disaster. We also have realized that because of our smallness and powerlessness we need friends with whom we can share our pain, sorrow and even our small joys.

There must be some people who may think ITC is secondary, which may be true. But, please remember there will be many members who care about their friends and who are more than willing to encourage those friends in need at the Region Conference in June. Let us be together again.



News



## ITCニュース



♥ゴールデン キー

すばらしいニュース! ゴールドラッシュが始まっています! ミュリエル・ブライアント事務局長によれば、ゴールデンキーが飛ぶように売られています。会員が余り多くの新会員を勧誘したので2000個追加注文しなければなりません。会員減少が底を突き、今年は増加に転じるでしょう。

Poppy Schofield  
ITC PREM委員会委員長

## リージョンニュース

1. リージョン大会への I T C 公式訪問者は Jane Harris ディビジョン IV 副会長と決まりました。
2. 阪神大震災によって会員の受けた被害は大変大きいものです。現在 (1995. 2. 20) までにリージョンが把握している被害状況は  
家屋が住めないほどに被害を受けられた会員 16人  
家屋が半壊の被害に遭われた会員 26人 (連絡のとれた方のみ数)  
その他家屋の一部破損、又は家の中の物の破損などの被害はこの地区に住む会員280人の80%以上が被っております。残念ながらご家族やお身内を亡くされた会員もあります。被害に遭われた方々のご健康を切に祈ります。

海外からもこの災害に対して沢山のお見舞状と温かい励ましの言葉が寄せられています。お名前を列挙しますと

国際会長	Ruby Moon	オーストラリアン フリンダーズ リージョン会長と会員	Linda M Martin
書記会計	Mary Moorehouse	オーストラリアン パシフィック リージョン会長と会員	Joan Earl
Div. I 副会長	Poppy Schofield	ニュージーランド リージョン 次期会長	Margaret Probert
Div. III 副会長	Brenda Eckstein	ファウンダーズ リージョン 元会長	Peggy Hall-Auery
Div. IV 副会長	Jane Harris	オーストラリアン パシフィック リージョン カウンシル5会長	Colleen Sutton
元国際会長夫妻	Elaine & Clarence La Rue	ワイタケアクラブ 会長と会員	Pat Pool

From : Ruby Moon 国際会長 1994~1995

To : 日本リージョン会長 小林 令 様

1995年1月24日

この度の地震で廃墟と化した恐ろしい映像を目のあたりにして大変驚いています。私たち I T C の多くの会員がこの地域に住んでおられ、I T C 役員会は会員の皆様の安否をとっても心配しております。

昨日ミュリエル・ブライアントさんと話をしましたところ、彼女はアン・イソットさんと直接連絡を取られたと聞きました。その時点では、アンさんはこの地域の I T C 会員の安否については分らないということでした。きっと皆様は今も救援と復興に全力を尽くしておられる事と思いますが、I T C 役員会ばかりでなく I T C の会員全員が今も皆様のために祈っていることをどうかお心にお留め下さい。

機会があれば、日本の会員の皆様に、私たちはみんなこの大変な時にいつも皆様のことを思っていることをどうぞお伝え下さい。

心よりお見舞い申し上げますとともに、どうか神の御加護がありますように皆様のために心よりお祈り申し上げます。

# “MEMBERSHIP”

Jane Harris  
ディビジョンIV副会長

**Membership** 会員はITCの基礎そのものです。あなたは入会した目的のものをITCから得ていますか？もしそうでなければ、次のことが助けになるかもしれません。もし目的のものを得ているとしても、続けて読んでください、おもしろいと思います。

**Enthusiasm** 熱意は笑いのように伝染します。熱意をもってください。そうすれば人々は何かあなたを一生懸命にさせているかに興味を持つのがわかるでしょう。熱意のあるクラブはいつも栄えます。

**Motivation** 意欲が大切です。意欲をもって下さい。外に出て、ITCを宣伝して下さい。ITCはいわばすぐ売れる製品です。図書館、ショッピングセンター、病院や地下鉄の駅のお知らせ板はお金のかからない宣伝方法として使えます。

**Broaden** 他のクラブと分かち合っあなたのクラブの限界を広げて下さい。あなたはその結果に驚くでしょう。

地域社会で視野を広げる会を開いたり、あるいは地域活動に参加して下さい。

**Encouragement** 励ましは不可欠です。コミュニケーションを誇りとする組織の会員として、仲間の会員を励まし、そしてとりわけITC以外の人達に、あなたと共に例会に出席するように勧めて下さい。

**Responsibility** あなたのクラブの会員を増やす責任はあなたにあります。いつも自分の組織を誇りに思ってください。コミュニケーション技術を訓練すると自負しているほかの組織と比較して、私たちは最良の組織です。みんなにそれを知らせましょう。

**Statistics** 統計資料は興味深いものです。あなたのクラブの統計の数字をより良くするような試みに取り組んでみて下さい。

**Help** 全クラブ会員にとって協力と援助は主要な役目です。欠席している会員と連絡を取って下さい。新入会員には、あなたが手助けとなれることを確実に知らせて下さい。問題があればクラブの会員委員長に助言すれば必ずあなたのクラブはより良いものになるでしょう。

**Initiative** 新会員を増やすための努力をする際に、あなたがイニシアティブを取れば、何か新しい試みを自由に試すことができます。万が一うまくいなくても、実践から学ぶことはできるでしょう。新会員が一人増えれば、成功だったといえるでしょう。

**People** 人がITCのすべてであり、新会員の入会はあなたに責任があります。他の人に任せとおかないで下さい！

人々が探し求めている情報を提供することによってイニシアティブを示し、その人たちが私たちの組織に加わるのに必要な励ましを示して下さい。あなたのクラブの会員が真剣に会員としての責任を果たすように動機づけることによってあなたの限界を広げて下さい。もしあなたに熱意があり、あなたのクラブで一般の人々にITCを宣伝するための協力と援助をする用意があるならば、あなたのクラブの統計の数字にプラスの結果が表れるでしょう。



## 会計監査委員会

Audit Committee

### リージョン会計監査ってどんなもの？

委員長 野田 絢子

ITCの会計監査とは、会費の徴収が完済されて会費の用途が明確にされているかを検証し、監査することです。

日本リージョン会計はクラブやカウンスルレベルの何倍もの規模の会計ですから、近年リージョンの会計監査は専門家に依頼してきました。しかし、ITC会則第5条H項 監査「会計年度にITCの記録の監査をするために、ITC会員以外の公認会計士、あるいは公認会計事務所を雇うものとする」とありますが、リージョン会則には会計監査は常任委員会の一つとしてその任務は会則第9条2.「会計監査委員会は会計帳簿を会計年度末または役員会の要求があった場合監査を行う」としか記載してありません。

当委員会としては、会計監査を委員会活動の訓練の一環として会員の手で行うことと理解して、この任務をお引き受けしました。

予算額 金銭出納簿 収支明細書 会計報告書 証拠書類 決算書などを検算確認して監査を行うよう、すでにリージョン会計 事務局会計と連絡をとり、3月中には中間監査を行うべく用意しております。

ITCは非営利団体の組織です。各々誠意と能力をもって管理されている会計と信じています。それらの信頼関係にのっとなって出来る限り会員自身の手で、厳正な会計監査を行いたいと思っております。会員のみならず、自分達の納めた会費が、どのように運営され、使われているか関心をもってみて下さい。

## 選挙委員会

Election Committee

### この一票に将来を託して

委員長 田口 邦子

日本リージョンの将来を担う役員選挙は、会員の大きな権利であり義務であります。高度な教育マニュアルを持つリージョンの活動をより発展的に継続するために、会員一人一人が自覚し、クラブで意見をまとめて派遣員に託して下さい。又同時に指名委員3名（異なったカウンスルから1名ずつ）も選挙致します。

#### \*投票について

1. 投票は登録された派遣員によって、大会第一日目（6月2日）の昼食時に行われます。
2. 投票用紙は選挙委員会が当日用意したもので行います。
3. 不在投票用紙は、クラブから一人も大会に出席者がいないクラブのみ、5月20日(土)必着で二重封筒にて委員長までクラブ会長の責任で郵送して下さい。  
当日開封し総数に加えます。
4. 賛成票が過半数に達しない場合、再投票致します。

#### \*リージョン派遣員にお願い

1. 日本リージョン会則第5条E項選挙をよく読んでご出席下さい。
2. 大会第一日目の昼食は必ず申し込んで下さい。午前のビジネス終了後、昼食券を忘れずご持参の上、速やかに银杏の間に移動して下さい。全員の出席を確認後、投票が行われます。

# ITC基金委員会

ITC Endowment Fund Committee

委員長 片桐寛子

クラブへのお便りやカウンスル例会、リージョン会報などでITC基金へのご協力をお願いし、既に集金にかかって下さっているクラブもおありと聞いております。

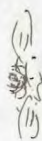
そこへあの大震災。思いもよらぬ大きな被害を受けられた会員も数多くいらっしゃるのではと心が痛みます。心からお見舞い申し上げます。

改めて申すまでもなくITC基金は任意によるものですから、寄付をなさるかなさらないかは、全く自由です。

寄付金はクラブでおまとめいただいたものを第3回カウンスル例会で委員がお預かりする他にリージョン大会でもデスクを設けて受付ける予定です。また、クラブから直接委員長へ申し込みと振り込みをして下さっても結構です。点火のピンとインナーサークルピンは委員会から本部へ発注して、最終的にはリージョン大会でお渡しする形になります。

※ ITC基金日本リージョン郵便振替口座：00800-1-26565 片桐寛子

※ ご質問・ご意見もどうぞ：☎052-774-5421 FAX052-774-6072



## 新クラブ紹介

盛岡クラブ（カウンスルNo. 8）1994年12月30日 認証番号3622

テーマ「違いを認め受け入れて」

会長 小泉千恵子

2月25日のチャーター式典を一週間後に控え、あわただしいながらも緊張し期待に満ちた時を過ごしております。

ITCクラブ設立を思いついてから一年あまり、一時期断念しかけた事もありましたが、まるで何かに導かれるように、設立に向けて素晴らしい出会いが繰り返されました。東北地方で初めて結成された盛岡クラブが、ITCの北の拠点として意義ある存在になりますよう、日々研鑽を積んで参りたいと思っております。

個性豊かな30人のチャーターメンバーが揃いました。各々適切な歩み続け、地域社会向上に寄与することに目標をおいて歩み始めます。

遠路度々ご指導にいらして下さった増設委員はじめITCの皆様様に心から感謝申し上げますと同時に、これからもどうぞよろしくお願い致します。

## Bridge to Golden Opportunities

— サンフランシスコ大会に参加しませんか —

国際交流委員長 中野 洋子

I T C発祥の地である、カリフォルニア州サンフランシスコにて、第54回 I T C国際大会が7月15日(土)～7月19日(水)まで開催されます。アーネスティン・ホワイト女史が活動を始めた記念すべきこの地を訪ねるよい機会です。ファウンダーズリージョン、シェラネバダリージョンのメンバーが心を込めて準備を進めて下さっております。

数々のトレーニングセッションそして市街地にでかければ、ゴールデンゲートブリッジ、おいしそうな魚料理のレストランが並ぶフィッシャマンズウォーフ、おとぎばなしから抜けでたような美しい町並みをのぼったり、下ったりしているケーブルカーなど魅力が一杯です。大会申し込みの詳細はコミュニケーター1・2月号をご覧ください。(JANUARY/FEBRUARY 1995 VOLUME 10/NUMBER 3)

国際交流委員会では、大会参加ツアーを計画致しました。リージョンメールで各クラブに旅程をお知らせしましたので、ぜひご参加下さい。お申し込みは、1995年4月30日までにお願いします。

申込先：〒277 千葉県柏市明原4-12-20 中野 洋子 ☎0471-44-3359

FRIDAY 14-July-95	SATURDAY 15-July-95	SUNDAY 16-July-95	MONDAY 17-July-95	TUESDAY 18-July-95	WEDNESDAY 19-July-95
Registration 5:00 pm-9:00 pm	Registration 8:30 am-7:00 pm	Registration 8:00 am-1:30 pm 4:30 pm-5:30 pm	Registration 7:00 am-8:00 am	Registration 7:30 am-8:15 am	Registration 5:00 pm-7:00 pm
Tours 9:00 am-5:00 pm	Tours 9:00 am-1:00 pm  RMT - II 9:30 am-11:30 am 1:00 pm-5:15 pm  Training Sessions 2:00 pm-3:30 pm 3:45 pm-5:15 pm  Welcome Party 7:00 pm-10:00 pm	Worship Service 8:00 am-9:00 am  Delegates' and First Timers' Briefing 9:30 am-11:00 am  Training Sessions 9:30 am-11:00 am  OFFICIAL CALL TO ORDER/Meet the Candidates 1:00 pm-4:00 pm  Golden Key Reception 4:15 pm-5:15 pm  Speech Contest Committee Briefing 5:30 pm-6:15 pm  Speech Contest Judges' Briefing 6:15 pm-7:15 pm  Preliminary/Taped Speech Contests 7:30 pm-9:30 pm	Elections 7:00 am-8:15 am  Business Meeting 8:30 am-10:30 am  Speech Contest 11:45 am-1:30 pm  Speech Contest Lunch Writing Contest Awards 1:30 pm-3:00 pm  Plenary Session by ITC Board 3:15 pm-5:15 pm  Social/Cash Bar 6:00 pm-7:00 pm  Banquet Honoring ITC Convention Comm. 7:00 pm-10:00 pm	Business Meeting 8:00 am-10:00 am  Plenary 10:45 am-11:45 am  International Luncheon 12:00 pm-1:45 pm  Training Sessions 2:00 pm-3:30 pm 3:45 pm-5:15 pm  Evening Open	Business Meeting 8:00 am-10:00 am  Training Sessions DVP/Region Board Meeting 10:15 am-11:45 am  Luncheon—Honor ITC Committee Chairmen 12:00 pm-1:45 pm  Training Sessions 2:00 pm-3:30 pm  Social/Cash Bar 5:00 pm-6:00 pm  Installation Banquet Honoring Past ITC Presidents 6:00 pm followed by reception
<i>Sales hours to be posted</i>	<i>Briefings to be scheduled by chairmen</i>				

### 1995 CONVENTION-AT-A-GLANCE



## グレート ブリテン リージョン会長としての一年

Diana Porterfield

グレート ブリテン リージョン 会長

I T Cの一年は8月1日から翌年の7月31日までですので、ある人にとっては違和感があるかもしれませんが、私の仕事とはぴったり合います。私は教職に携わっており、成人教育大学の学部長としてフルタイムの勤務についています。夜、準備や採点をすませると大学の仕事を脇へおいて、I T Cのことを考えます。この数年来これが私の夜と週末の楽しみとなっています。1993年8月1日に会長になりましたが、私にとってのすべては1980年12月にI T Cエディンバラクラブに入った時に始まったのです。最初のエディンバラクラブは北アメリカ地域外で設立された最初のクラブでしたが、現在のエディンバラクラブは1980年に作られました。グレートブリテンリージョンは4カOUNSル22クラブからなっており、エディンバラクラブはカOUNSル2に属します。

幸運なことに私たちのリージョンでは、今年4カOUNSルすべてがリージョン役員会に代表を送っています。このことは、どのカOUNSル例会にもリージョン役員が少なくとも一名は出席することを意味します。これは私の一年のテーマ「カOUNSル及びクラブとのコミュニケーションを図る」とぴったり一致します。イギリスは地理的に見てもカOUNSル間を行き来するのにそれほど遠い距離ではありません。ですから私たちはカOUNSル1と2のカOUNSルマネージメントトレーニングをスコットランドで、3と4をイングランドで一緒に行う事ができました。このトレーニングは7月と8月、I T C年度が始まってすぐに行われました。

10月と11月に私は、4カOUNSルのうち3カOUNSルを訪問しました。これらの例会の一つは、合同例会でリリアン・モートン国際第一副会長をお迎えして開かれました。彼女は本当に人を鼓舞してくれる人で、とても熱心なI T C会員です。リリアンはヨーロッパ'92リージョンへ向かう途中でイギリスで週末を過ごし、土曜日は、カOUNSル3と4、日曜日はカOUNSル1と2と共に過ごしました。今年の私の喜びの一つは、違うカOUNSルのこんなに多くの会員が合同例会のために一堂に会するのを目の当たりにすることです。私のテーマがとてもふさわしかったのだと感じていますし、他のカOUNSルを訪問するのを楽しみにすると同時に、1995年6月にエディンバラで開催予定の年次大会にすべてのクラブの会員をお迎えするのを楽しみにしています。国際レベルの訪問者は、リタ・フェリックス次期国際会長です。事務会議、ワークショップ、スピーチコンテストに加えて、Jenny Wood-Allenトロフィーを目指して二つのデイバートで、一つの優勝チームを決めるため、4つのすべてのカOUNSルが競い合うデイバート戦も予定しております。

エディンバラは私のI T C生活の中で特別の意味を持っています。1996年開催予定の国際大会のコ・コーディネーターとして、私の夫であるサンディを、準備と組織作りの面で手助けしています。委員会を組織し、1996年の大会を思い出深いものにするつもりです。その時には、多くの海外からのお客様をお迎えするのを楽しみにしていますし、願わくば、日本リージョンの皆様がたくさん来て下さるのを心待ちにしています。エディンバラはとても美しい都市で、会員やゲストの方々にエディンバラの市内観光と共に、スコットランドやイングランドを旅したり、ゴルフやサーモンフィッシングをして一日楽しんでいただけるツアーも計画しています。

サンディと私は、この5年間の大会に参加してきました。トレーニングセッションに出席したり、セッションを行ったり、世界中からの会員に会い、聞く力や組織作りを学んだりできる素晴らしい機会でした。

グレートブリテンリージョンの会長を務めるのは、大変名誉なことです。時間もかかります。事前に計画し、役員会を調整し、すべてのカウンスルを訪問し、できるだけ沢山のクラブを訪問する時間も必要です。しかしながら、時間は自分で作るものであり、これからの2年間私はITCを最優先にする覚悟です。もしあなたが役職を引き受けるかどうかを考えているならば、考えるのをやめて立候補して下さい。とてもやり甲斐があります。私は、この数年間非常に多くのことを学び、成長して来ましたので、今では1994-95年グレートブリテンリージョンの会長を楽しんで務める事ができるようになりました。

## 価値ある評価をする

Jane Gollmer

ディビジョンII 副会長

ITCでの私たちの成長の最も重要な部分は、建設的なフィードバックにあるのは確かですが、多くの会員は、私たちが受ける評価にがっかりさせられたり、それが非生産的だったりするといった不満をよく述べます。ミュリエル・ブライアントITC事務局長は、クラブで評価を頼まれたときに彼女が使う効果的な評価法を提案してくれました。

ミュリエルは、参加者のために適切に準備するには前もって議事日程を受け取ることを強調しています。彼女が会場に着いたとき、プログラムに載っている各会員にcueカードを渡し、書き込んで返してもらおうようにします。各参加者は次の事を記入します：

1. 名前といつ入会したか
2. 今期の第一目標と第二目標

ミュリエルが一人ひとり評価するとき、その会員が示した目標を達成できるように課題が設定されているかを評価します。もしそうでない場合は、クラブのプログラム委員長が今後のプログラム作りについて勧告を受けます。彼女はまた各会員の経験を考慮に入れて、それに応じた評価をします。これはフィードバックを期待するならば、覚えておくの良い大切な点です。ミュリエルはプログラム参加者に、個人の目標と資格認証の目標に関連して与えられた課題に満足しているかどうか尋ね、もし彼女が、その課題が不十分であったり不適切であると感じた場合は勧告をします。

私たちがコミュニケーション技術を向上させようとするときには、特定の分野に集中するというのはいい考えです。そうすれば会員がその時自分の望む目標に焦点を合わせるように決める手助けができるからです。プログラム委員長が会員にプログラムを割り当てるときの指標ともなり、プログラム参加者が求めている建設的なフィードバックを的確な形で提供できます。評価というプロセスは会員にとって抜群の効果があるのですが、もしそれがその会員個人に対して特定の目的をもち、建設的で、当を得ていなければ時間の無駄です。あなたの次の評価があなたのクラブの会員にとって価値ある贈り物になるように時間をかけて下さい。

## Fresh Breezes from the Councils

### ディベート大会 広島青年会議所 対 ITC 会員 論 題 「夫婦は別姓にすべきである」

藤 原 恵 子 カウンسلNo. 4 第一副会長

第12回日本リージョン大会で行われた「ディベート」に刺激を受け、カウンセルNo. 4も「ディベート」に取り組むことになりました。第1回例会で2人の先生をお招きして会員一同勉強したのを皮切りに、各クラブで更に深め、第2回カウンセル例会ではディベート大会を開催いたしました。肯定側の広島青年会議所と否定側のITC会員は「夫婦は別姓にすべきである」の論題で戦いを繰り広げました。ディベーターは九州から岡山まで各クラブから選び勉強していただきました。地理的に広範囲で事前の打ち合わせが困難であったにもかかわらず、まとまりのあるディベートとなり、相手側の青年会議所の元ディベート委員会の方々と互角の対戦ができました。

わずかの差で苦杯をなめたものの、ジャッジチェアマンの宮崎栄樹先生からは、これほど良く噛み合ったディベートはあまり例をみないとのことのお褒めの言葉を頂きました。

ITC側はかなりの資料を集め、立論・反駁・総括とも素晴らしい出来でしたが、広島青年会議所側は弁護士を含む論客。臨機応変に対応してくる相手側に対して言葉に窮する場面もありました。しかしそこはITCメンバー。日頃の訓練が生かされて善戦しました。

参加メンバーがディベートを身近に感じ、これを機会に一層勉強したいという意欲を持ったことは、大成功といえるのではないかと思います。

### 「合同例会を終えて」

中 野 智 美 カウンسلNo. 5 第一副会長

1995年1月30日京都パークホテルに於いてカウンセルNo. 5とNo. 6の合同例会を開きました。前期リージョン大会の席でこの素敵なプランが両会長の間で話し合われ、相互のコミュニケーションをはかりながら、準備を進めて参りました。思えば、そのリージョン大会が華やかに開かれた神戸の地でそのような大惨事が起きようとは…… 誰が想像したのでしょうか。被災された方々に心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をと願うばかりです。

昨年末までに数回の合同準備会を持ち、プログラムは「カウンセル対抗ディベート」と「講演」と決まり、No. 5はディベート、そしてNo. 6は講演の準備を担当する事になりました。No. 5では早速、一番の難問である論題選びに取り組みました。ああでもない、こうでもない論議の果てに論題は「同居するなら息子より娘の家族の方が良い」で、No. 6の皆様にもご賛同いただきました。あまり暗く深刻にはならず、且つ誰にとっても老後の切実な問題で、身につまされるテーマを選びました。

両カウンセルにとって初めての合同例会は互いに比較し、反省しあう機会となった事、予算の点でも準備の点でも半分の負担で済んだ事など、沢山のお土産を残してくれましたが、何よりも嬉しい事は、新しく素晴らしい友、頼もしい先輩との出会いに恵まれた事でした。この例会で得たお土産を大切に、また少しずつつ前進して行きたいと思えます。No. 6の皆様にご心から感謝しております。例会が済んだ頃、外は真っ白い雪景色となり、清々しい気持ちで京都を後にしました。

## Fresh Breezes from the Councils

ディベート「同居するなら息子より娘の家族の方が良い」  
講演 「映画は百歳になりました」

小山 孝子 カウンシルNo. 6 第一副会長

カウンシル間の交流を願ってNo. 5との合同例会が実現すると決まったのは、今期がスタートして間もなくの事でした。年が改まって準備が進んできた矢先、予期せぬことが起こりました。阪神大震災です。ディベートのジャッジとして依頼したNo. 2、No. 3のメンバーの方は交通途絶のため出席が不可能となられ、又、両カウンシルのメンバーの中にも被災者があり、一時は開催不可能かとも危ぶまれましたが、被災地へ思いを致し、開催できる幸せをかみしめて、実行することができました。

合同例会のプログラム前半はNo. 5担当の「チームディベート、ミニ尋問型について」の教育で始まり、前出の論題により肯定側No. 6、否定側No. 5、各3名のディベーターが出場、白熱の立論、尋問、反駁が繰り返され、盛り上がった末、判定は肯定側に下されました。後半はNo. 6担当の講演で映画監督、大阪芸術大学教授 中島 貞夫氏は、百年前に日本に映画が伝わって以来、映像を記録する、伝達する、表現するメディアは現代情報化社会では欠くべからざるものであり、芸術として光と陰の世界、映画は虚構の世界を私たちに提供してくれるものであるなどの内容の講演をして下さいました。合同例会は異なったカウンシルの特徴、違い等を比較しながら交流できた良い機会となりました。又、受付に置いた募金箱には被災されたカウンシルへ私たちメンバーの気持ちが入れました。

### 「参加して良かった」

嶋田 凱子 カウンシルNo. 8 第一副会長

阪神大震災で被災されたITC会員の皆様に、心からお見舞い申し上げます。  
カウンシルNo. 8は、昨年末チャーターされた盛岡クラブを入れて12クラブの大世帯です。少しでも多くの会員が満足出来るように、今迄取り上げなかった題材、タイムリーな題材などを念頭に置いて、プログラムを作成するよう努力しました。  
年間予定として、例会は昨年と同様に3回。ワークショップを1回、クラブ運営研修会を2回と決めました。すでに、4月と6月の例会を残して、他は好評のうちに終わりました。第1回例会は11月7日に、俳人で東大名誉教授の山口 梅太郎氏の「父、山口青邨を通して見た俳句の世界」と題した講演会を持ちました。身近でありながら、意外に作る機会の少ない俳句を、ユーモアと温かみに溢れた講演で、身近に感じたことでした。第2回例会は、4月9日のスピーチコンテスト。第3回例会は、6月末に「東京遷都は必要か」と題して、グループディスカッションの予定です。ワークショップは2月4日に初級、中・上級の2つのクラスに分かれて、「議事法」を勉強しました。新しい会員とベテランの会員では、理解度の全く違う議事法ですが、2つのクラスに分けた事で、キメ細かく勉強することが出来て、好評でした。クラブ運営研修会は、7月14日と2月4日の2回行ない、クラブ同士の横のつながりを深める事に効果があったと思います。有職者の多いカウンシルですが、何とかやり繰りして、毎回多くの会員が参加して下さいます。「参加して良かった」と思える会合であったら、と心から願っています。

## 議事法 Q & A

日本リージョン議会法規役員 星野 佐登

Q 役員は報告に伴う動議を提出することができますか。

A 役員は動議を提出すべきではありません。

役員は報告が情報を与えるだけでなく、会議に決定を求める勧告を含む時には、その勧告を採り上げる動議は報告者の役員以外の会員によってフロアーから提出されるべきです。

(ロバート議事規則日本語版 292頁, 392頁)

Q 役員会としては動議を提出することができますか。

A このことはよく質問されますが、ITC議事法マニュアルの20頁には「役員会は会議に対して決議案や動議を提出しない。」とあります。

役員会からの提案を勧告として報告に含め、報告が読まれたあと勧告を採り上げる動議を書記が提出することはできません。

役員会の報告が勧告を含む場合、報告者は通常、報告が終わった時にその勧告を採り上げる動議を提出します。報告が書記によって読み上げられた時、書記はその朗読が終わったから直ぐに動議を提出する目的で再び発言許可を得、勧告を採り上げる動議を提出します。この場合セコンドは要りません。それは、その動議は役員会を代表して提出されたものだからです。もし、書記が提出しない場合にはフロアーから他の会員が動議を提出することができますがこの場合はセコンドが必要です。(ロバート議事規則日本語版 418頁)

しかしこれは書記が一会員として投票権があるクラブレベルの場合で、派遣員のみには投票権があるカウンスルとリージョンレベルでは派遣員しか動議を提出することができません。

### 投票による選挙についての質問

Q 白票・無効票の扱いは？

A 白票はすべて無視します。投票用紙を開く際に、記入された2枚以上の投票用紙と一緒に折りたたまれているのが、発見された場合、それらは無効票として記録されます。もし、適切に必要な事項が記入された投票用紙と白票が重なっていた場合、白票は無視されますが、白票と重なっていた投票用紙は有効です。

Q テラー（投票計算係）の任務？

A テラーは議長により、少なくとも3名任命され、計算した投票結果を読み上げ、この報告書を議長に手渡します。もし同点が出た場合は議長の指示に従い、決着がつくまでつとめます。

Q 同点が出た場合はどうしましょう？

A 何度投票を繰り返しても同点の場合はどうするか調べてみましたが、ITCマニュアルにもロバート議事規則にも書かれていません。状況に応じ、候補者に一言抱負を話してもらって再度投票するとか、抽選にしようか。



(教育資料C-66-1のイラストより引用)

# 第13回 リージョン大会 東京

## 大会テーマ「理解の共有」

開催日：1995年6月2日(金)・3日(土)

場所：ホテルオークラ東京 TEL 03-3582-0111

大会準備委員長 今井 千代子

TEL & FAX 0427-28-1733

1月17日の阪神大震災以来、ひたすら皆様のご無事をお祈りしております。きっと今もなお、思いもかけなかったようなご不自由な生活の下で、そのご心労ご心痛はいかばかりかと、胸もつぶれる気持ちでございます。

東京でのリージョン大会が近づきました。会員の皆様には大会の登録をお済ませ下さいましたでしょうか。

被災された地域の会員の方々が、もしも期日までに登録申し込みがお出来にならなくても、追加の受付をさせていただきます。どうか例年のようにお元気な様子をお見せ下さいませよう、心からお待ち申し上げます。

お一人お一人によって盛り上げて頂く、1年に1回のこの貴重な機会が、会員の交流の場として、今年ほど待たれることはないような気がいたします。



---

## リージョン運営研修会・カウンスル運営研修会

日本リージョン次期会長 江藤 万里子

リージョン大会の前日(6月1日)に、リージョン運営研修会(RMT)とカウンスル運営研修会(CMT)を、ITC公式訪問役員ジェイン・ハリスDiv. IV副会長をお迎えして実施いたします。

研修対象はRMT・CMTそれぞれリージョンおよびカウンスルの下記の役員と、常任委員会委員長です。

\*1995~1996年度選出役員(又は候補者)と任命役員

\*資格認証、会計監査、予算財務、会則決議、増設、広報、スピーチコンテストの各委員会の1995~1996年度委員長

日時、場所は大会プログラム一覧表に予定が出ております。詳細は関係者に改めて通知し、前もって出欠を知らせていただきます。

RMT・CMT共に8月1日から始まる新年度に向かっての活動方針の確認と、リージョンやカウンスルを効果的に運営するために必要な研修の機会であり、又、各担当分野でチームとして活動する上での情報交換の場でもありますので、関係する方々は是非ご出席くださいますようお願いしております。

# 第13回日本リージョン大会プログラム

Japan Region 13th Annual Conference Program

ホテルオークラ東京  
Hotel Okura Tokyo

6月1日(木) June 1 (Thu)

9:45 ~ 10:00	リージョン運営研修会受付	Region Management Training Registration
10:00 ~ 12:00	リージョン運営研修会	Region Management Training
12:20 ~ 12:50	カウンスル運営研修会受付	Council Management Training Registration
13:00 ~ 16:00	カウンスル運営研修会	Council Management Training
16:15 ~ 18:15	リージョン運営研修会	Region Management Training

6月2日(金) June 2 (Fri)

8:30 ~ 9:45	登録受付	Registration
9:00 ~ 9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	入場・開会式	Opening Ceremony
10:45	ビジネス ITCインフォメーション	Business ITC Information
12:00 ~ 12:55	昼食 選挙(派遣員のみ)	Lunch Election (Delegates Only)
13:00	午後の部開始	Afternoon Session
13:10 ~ 14:50	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
14:50	選挙結果発表	Election Report
15:10 ~ 16:50	教育セッション 外部講師と会員部門(4)	Training Session Guest & Members (4)
17:30 ~ 17:50 18:00 ~ ~ 20:20	晩餐会 受付 祝辞・余興 晩餐 表彰	Banquet Registration Greetings・Entertainment Banquet Awards

6月3日(土) June 3 (Sat)

8:30 ~ 8:55	登録受付	Registration
9:00 ~ 10:00	ビジネス	Business
10:05 ~ 10:55	教育セッション ITC公式訪問者へのQ & A	Training Session ITC Official Visitor's Session
11:00 ~ 12:20	講演	Lecture (Guest)
12:20 ~ 13:10	昼食	Lunch
13:20	午後の部開始	Afternoon Session
13:30 ~ 15:20	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30 ~	役員交替式 報告	Installation Announcement
16:30	閉会	Adjournment

# プログラム・教育委員会

Program-Education Committee

委員長 小谷 貞子

第2号でお知らせしました教育セッションの一部を補足いたします。又、リージョンメールで案内しましたように、震災の被災地域にお住まいの方の教育セッション申込期限は、4月末日としました。一人でも多くの方の大会御参加をお待ちしています。

6月2日(金) 15:10~16:50

B パネルフォーラム	<b>日本リージョンの 明日を考える</b> モデレーター 盛田 純子 (名古屋)	1. 日本リージョンの分割 2. PREM活動について 3. ITCで学ぶ自己啓発はいかに役立っているか
------------	---	--

6月3日(土) 10:05~10:55

講演と Q & A	<b>変化はおそれではなく 一つの好機である</b> ジェイン ハリス ITC Div. IV 副会長	講演についての質問、あるいはITCの活動や組織についての質問にもお答えくださいます
Lecture, Q & A	<b>Change is not a threat Change is an opportunity</b> Jane Harris ITC Div. IV Vice President	Div. IV V.P. is going to answer questions on ITC activities and organization as well as on her lecture.

11:00~12:20

講演	<b>違うということ</b> 大宅 映子氏 ジャーナリスト	日本では“皆一緒”がいい、と思われています。ヒトと違うことはあまりよい価値でとらえられていません。しかし現実にヒトは一人一人違うのが当たり前で、意見も違うのが当たり前です。違って当たり前、を前提にこの世の中を見てみるともっと解決の道がありそうに思います。この違いということ、世界レベル、日本レベル、個人レベルで考えてみたいと思います。
Lecture	<b>Being Different</b> Ms. Eiko Ohya Journalist	In Japan, 'the same as others' is believed to be good. If you are different from others, you won't be highly appreciated. In reality, however, everyone has his or her own individuality. If you take this for granted, there must be ways to solve various problems at individual-level, Japanese-level and the world-level.

## リージョン派遣員の皆様へのお知らせ

日本リージョン議会法規役員 星野 佐 登

第13回日本リージョン大会まであと一ヵ月余りとなりました。各クラブから選出されたリージョン派遣員の皆様には、ご自分のクラブを代表して投票出来る大切な権利と責任があります。自信を持って任務を果たせるようリージョン会則をよく読み、提出された修正案に対するクラブの意見をしっかり持ってご出席ください。

当日はリージョン会則と修正案をお忘れなく、9時からのブリーフィングに遅れないよう登録を済ませ、銀杏の間にお集まりください。

## リージョン派遣員の皆様へ

派遣員資格確認委員長 古澤 由紀

大震災に遭われた阪神地区の会員の皆様には心よりお見舞申し上げます。クラブを代表するリージョン派遣員の役職を引き受けられた皆様、誠にご苦労様でございます。ご承知のように大会第1日目、第2日目共ビジネスセッションが行われます。したがって派遣員の皆様は両日共、朝一番に派遣員の資格確認と登録をしていただくことになります。当委員会をお手伝い下さる会員の方々は眠い目をこすりながらも笑顔でお待ちしておりますからくれぐれも遅れることのないようにご協力下さい。特に2日目は気を抜かず早起きして登録して下さいようお願い致します。

### 1. 資格確認と登録の時間と受付場所

第1日目／6月2日(金) 8:15～8:45 本館1F宴会場「銀杏の間」前

第2日目／6月3日(土) 8:15～8:45 本館1F宴会場「平安の間」前

※ 第1日目と第2日目の受付場所は同じではありませんのでご注意ください。(案内図参照)

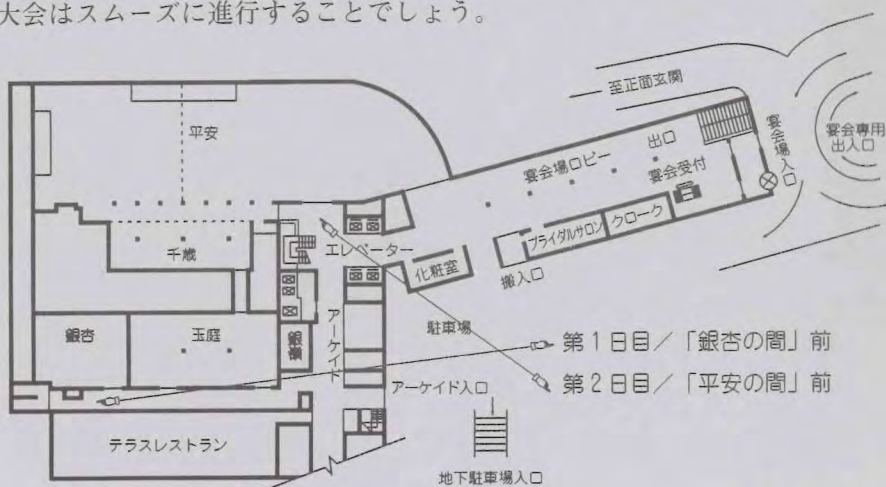
### 2. 資格確認と登録に必要な書類

信任状 (青色)

※ 派遣員 (又はその代理人) とクラブ会長の署名の確認を。

※ 代理人と交替するクラブは事前に連絡を、又は登録時に必ずその旨申し出て下さい。

今期の会長テーマは『受動から能動へ』です。あなたが為すべきことを、速やかに為さってくだされば大会はスムーズに進行することでしょう。



## 大会準備委員会より

### 登 録

委員長 白 砂 文 子

クラブでの登録申し込み手続きはお済みでいらっしゃいますか。

第1回のクラブ受付締切期日は4月8日です。第2回最終登録受付期限5月9日まで、追加、変更をクラブ会計が取扱います。

被災地のクラブで、第1回の手続きが不可能な場合には、第2回最終登録受付の手続きのみでも、申し込み受付をいたします。お一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

なお、5月10日以降の取り消しの場合は、返金できませんので、ご了承ください。

### 宿 泊

委員長 市 田 弥 生

会報2号掲載のホテル宿泊申込書の宿泊希望日6月1日、6月2日、の前後（5月31日、6月3日）もITC特別料金でご宿泊頂くことができます。ご希望の方はお申し込み下さい。

### 名札・リボン

委員長 永 井 眞 澄

クラブでご使用の名札、ピンをお忘れなくご持参の上、大会会期中おつけ下さい。

大会用の役職リボンは、キットに入れてお渡しいたします。終了後、必ずお返しください。前年度から引き継ぎましたように、きれいにして来期にお渡ししたいと思っております。

### 写 真

委員長 轟 洋 子

大会の写真は記録用として、外部写真家に依頼いたします。

ご参加の方々の記念写真は、晩餐会各テーブル単位で撮影し、テーブル毎に申し込む方法をとります。当日、申し込み用封筒を各テーブルに用意いたします。クラブ名、氏名を記入し、代金（検討中）を入れてお申し込み下さい。後日、クラブ会長宛にお送りいたします。

その晩餐会以外の写真については個々にお撮り下さい。ただし、行事の進行を妨げないこと、スピーチコンテスト中は撮影は禁止されている等、ご注意ください。また写真家に個人的に依頼することはできません。

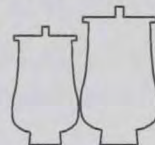
### ホスピタリティ

委員長 広 島 伸 枝

大会会場「平安」に隣接した「千歳」を本部とホスピタリティに使用いたします。

ホスピタリティのスペースを皆様の憩いの場として、また、会員の連絡、打ち合わせ、待ち合わせの場所としてご利用頂けたら幸いです。

事務用品、裁縫道具、アイロン、お茶等を用意いたしております。差し入れを頂きますことも大歓迎です。







1995年2月25日

この度の阪神・淡路大震災に際し、沢山のクラブからお見舞状を頂きまして本当にありがとうございました。本来なら、お一人お一人にお返事を差し上げなければなりませんところ、本誌の紙面を借りて、かえさせて頂きたく存じます。

会員のほとんどが被災し、従来の生活を取り戻すまでに時間がかかりそうです。

あまりの現実の凄まじさにたじろいでおりますが、2月には会合という形で細々とですが、ITC芦屋クラブとしての一步を踏み出しました。

これからも皆様のご厚情をを賜りたいと思っておりますので宜しく願いいたします。

カウンスルNo. 3 芦屋クラブ会長 橋本 裕美

### ITC COMMUNICATORに掲載されて

阪神大震災被災の会員の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、千種クラブは昨年8月末に投稿した後、採り上げられないものと諦めていた記事が、コミュニケーター1994年11/12月号に写真入りで掲載され、会員にとって記念すべき出来事になりました。まもなくITC本部第二副会長よりお祝いの手紙も頂き、更に喜びが増幅されました。英訳した中日新聞の記事とその日本語の記事が載ったのは、画期的なことと言えるでしょう。又、新聞に掲載されたことで4名が入会する成果がありました。

皆様も積極的に“WAKEUP TO ACTION”にトライしてみませんか。

カウンスルNo. 1 千種クラブ会長 清水 京子

かねがね日本リージョンの規模からいって、コミュニケーターへの寄稿が少ないと感じていた私は、会長になった昨年、とにかくそれを実行してみようと思い立ちました。記事内容は何でもよかったのです。7年目を迎えた梅田クラブの倦怠期を乗り越えるために、泊まりがけの例会を計画し、会員の協力のもと、その成果を記事にすることができました。今回、幸いにも採り上げていただき、役目を果たしたという気持ちと、これからも発信し続けることが必要であるという思いが交錯しています。(ITC COMMUNICATOR JAN./FEB.1995 VOL.10 No. 3 P4~5)

カウンスルNo. 5 梅田クラブ 林 恵子

### 成功ってなに？

よく笑い、多く愛すること、

聡明な人達から尊敬され、子供達から愛されること、

正直な批評家から認められ、偽りの友の裏切りに耐えること、

美しいものに価値を見だし、他の人の一番いいところを見いだすこと、

見返りを何ひとつ期待しないで自分を捧げること、

仕事をやり遂げること、

熱意を持って行ない、笑い、称賛の歌を歌うこと、

あなたが生きていたからこそ、ほんのひとりでも他の人が楽に生きられるようになったと知ること、これが成功するという事です。



PREM Power (Vol. II Issue II) より



# (祝)

## クラブ アニバーサリー

I T C 帝塚山クラブ 5周年記念例会  
日時 1995年3月16日(木) 11時～15時  
場所 ホテル阪急インターナショナル

I T C 豊中クラブ 10周年特別記念例会  
日時 1995年4月3日(月) 11時～15時  
場所 千里阪急ホテル

I T C 岡山あくらクラブ 5周年記念例会  
日時 1995年5月17日(水) 11時～15時  
場所 岡山国際ホテル

I T C 米子クラブ 10周年記念祝賀会  
日時 1995年5月24日(水) 11時～15時  
場所 米子国際ホテル

I T C 阪神クラブ 創立30周年記念例会  
は7月3日(月)に変更になりました。

I T C 名古屋クラブ 45周年記念例会  
日時 1995年7月10日(月) 11時～15時  
場所 名古屋観光ホテル

## リージョン書記からのお知らせ

下記の役員は去る1月17日に発生した阪神大震災のため、一時的に住所・電話番号・FAX番号を変更しております。

リージョン書記 (阪神クラブ) 泉 和子(今期中)	〒531 大阪市北区豊崎3丁目10番2号 アイ アンド エフ梅田1008号室 ☎<06>371-4561 FAX<06>374-0521
カOUNSLNo.2 会長 (阪神クラブ) 川口 敬恵(5月頃まで)	〒631 奈良市西大寺園見町1丁目5-4-402 ☎<0742>41-5586 FAX<0742>48-4645
カOUNSLNo.2 イースト神戸クラブ 第一副会長 羽尾 則子	〒573 枚方市香里園町26-8 ストークハイツ宮崎102 ☎<0720>34-8725
議会議長 今井 京子	〒661 尼崎市塚口町3丁目26-7 ☎<06>421-4093
カOUNSLNo.3 関西クラブ カOUNSL派遣員 伊藤 泰代 (一年前後)	〒545 大阪市阿倍野区阪南町4-2-28 グレース阪南町505 ☎<06>624-5687
舞子クラブ 議会議長 田辺 和子 (未定)	〒562 箕面市西小路3-5-12 ☎<0727>22-8205
ポート神戸クラブ 会 計 中井 千春 (未定)	〒657 神戸市灘区大内通6丁目1の3 中井病院内 ☎<078>881-7441

※上記以外の今後の一時的変更事項は後日まとめてリージョン書記から第4回リージョンメールにてお知らせします。

# 会員異動

1994年12月1日～1995年2月28日現在

## ■新入会員

カウンスルNo. 1	栄クラブ	川村 一江	
	飛騨高山クラブ	岡田 芳子	
カウンスルNo. 2	イースト神戸クラブ	石上 恭子	
	六甲クラブ	宮本千代子・平岡 智子	
	松山クラブ	中野 まり・門田 伯龍	
カウンスルNo. 3	姫路クラブ	広岡 真理子	
	尼崎クラブ	渥美 寿子	
カウンスルNo. 4	ひろしまクラブ	吉原 みち代	
	福山クラブ	林 美智子	
	安芸クラブ	新矢 栄	
	大分クラブ	志賀 和子・三浦 昌子・吉岡 真理	
	岡山あくらクラブ	早津 聡子・杉原 典子	
カウンスルNo. 5	梅田クラブ	山田 真美	
	城北クラブ	住吉 政子	
	徳島クラブ	美馬 淑子 川田 吉子・植田貴世子	
カウンスルNo. 6	京都クラブ	園城 めぐ美	
	都クラブ	大谷 禮子	
	奈良クラブ	藤野 幸子・奈蔵 千代	
	サタデークラブ	野田 優美子・西野 由紀	
	琵琶湖クラブ	中島 秋子・西堀 久子・岡本 芳子	
カウンスルNo. 7	米子クラブ	野坂 万里江	
	米子マンデークラブ	山崎 洋子	
カウンスルNo. 8	青山クラブ	石井 恭子・能見 敬子	
	柏クラブ	小寺 恵子・前川 晃子	
	サンデークラブ	毛利 勝昭・大川美恵子	
	横浜クラブ	鈴木 敏子	

## ■役員変更

カウンスルNo. 8 東葛クラブ 書記 多田 絵実 ⇨ 浜島 和代

## ■住所・電話番号・FAX番号訂正・変更

[カウンスル役員]

カウンスルNo. 8 第一副会長 嶋田 凱子 〒157 東京都世田谷区成城 6-21-10

☎ <03>3789-1072

[クラブ役員]

カウンスルNo. 1 千種クラブ 書記 小澤 佳恵 〒473 豊田市駒新町中通 2 0 7

☎ <0565>57-3432

カウンスルNo. 6 北摂クラブ 書記 岡田 たみ子 〒611 宇治市折居台 3 丁目 2-188

☎ <0774>22-5955

カウンスルNo. 8 柏クラブ 会計 丸田 晶子 〒277 柏市増尾台 3-10-20

☎ 変更なし

[会員]

カウンスルNo. 2 三田クラブ 住 加代子 ☎ 65-1453 ⇨ 66-0117

上田 正子 ☎ 63-1450 ⇨ 59-4595

山本由美子 ☎ 68-2156 ⇨ 68-2158

## ■氏名変更

カウンスルNo. 1 名古屋クラブ 大隅 美里 ⇨ 浦野 美里

## 編集後記

総じて日本は安全で健康的な国だとタカをくくっていた私たちの楽観論を、阪神大震災、それに続いたサリン事件はこなごなに打ちくだいてしまいました。

阪神大震災の衝撃は余りにも大きく、被害に遭遇されました現地の会員各位に心からお見舞申し上げます。

試練を越えて、皆様の心の交流のために会報がお役に立つことを祈ってやみません。

大会が迫ってまいりましたこの時期に3号を編集するにあたり、役員・各委員会の皆様、大会準備委員会の方々のご尽力に感謝し、そのご努力が花開くような大会の成功を心から願うしだいです。

リージョン会報編集者	石川 浩子 (名古屋)
スタッフ	鵜飼恵津子 (名古屋)
	奥田小夜子 ( 錦 )
	幸村りつ子 (名 城)
	松井 葵 (東 山)

発行：1995年4月  
会報発行者：ITC日本リージョン  
印刷所：(株)デスカ印刷  
〒464 名古屋市千種区菅場二丁目12番8号  
TEL(052)722-6525(代)

